

# 夏のデザインセレクト2013

5月29日(水)ー6月11日(火) 最終日5時閉場  
松屋銀座7階デザインコレクション



松屋銀座=毎日朝10時から夜8時まで。〒104-8130 東京都中央区銀座3-6-1 電話03(3567)1211大代表

[www.matsuya.com](http://www.matsuya.com)

# MATSUYA GINZA

# 夏のデザインセレクト 2013

## 蚊やり器／マルデ鋳器



この商品は、三重県桑名地域で作られた鋳物による蚊やり器です。桑名の鋳物は江戸時代に徳川家康の家臣、本田忠勝公が桑名藩主となり、鉄砲の製造を始めたのが起源といわれています。三重県は、着物の図柄になる伊勢型紙が育まれてきた地域です。蚊やり器の図柄は、夏らしい題材を着物のように図案化しています。全体のディレクションをヤマサキデザインワークス、図柄やグラフィックをスワデザインスタジオが担当。

## うちわ／五八 PRODUCTS



日本各地で根ざした技術を「特別なモノ」としてではなく、「日常」に普通にとけ込めるような商品を提案されています。今回は、少し左に傾いてお辞儀をしたような団扇・Ojigiをご紹介します。お辞儀をしたような角度で楽に風を起こすことができ、長方形の形は雑誌や単行本、文庫本に挟む葉としてピッタリに設計されています。香川県丸亀市の丸亀うちわ、京都に伝わる京うちわの違いもお楽しみください。

## 栓抜き／センヌキデザインプロジェクト



缶をプシュッと開けるより、栓をシュボツと開けるほうがワクワクする。テーブルに缶が並ぶより、ピンが並ぶ眺めがいい。特に需要が高いわけでも、ひそかなブームでもなく、ただ作りたいからという理由で始めたプロジェクト。6名のデザイナーにより、2009年にスタート。各地で瓶ビールの振興を応援しています。

## 紙の花器・灯り／林工芸



林工芸は、主に和紙を用いた照明器具や花器、さまざまな紙の道具を、和紙漉き、鉄・木工、塗装、提灯張りに至るまで一括して、美濃ののどかな風景が広がる環境の中で制作しています。その中から、デザインに小野里奈を迎えて制作した、ペットボトルやガラスコップにかぶせて使えるボトルカバーの「紙の花瓶・延筒」と、ベランダでの夕涼みや食卓の上、枕元など、好きな場所に置いて使えるちいさな灯り「道行灯」をお届けします。

これから迎える夏を、いつもより楽しく過ごせる「品」を集めました。是非、この機会に手に取ってご覧ください。  
企画・構成／山崎宏 グラフィック／内田順子

## 手ぬぐい／てぬコレ



てぬコレは、てぬぐいのコレカラを楽しむ活動として2008年にスタート。伝統的で日本的な『てぬぐい』の良さを活かしながら、新しい時代の『てぬぐい』を提案しています。

つくる現場を見つめ、くらしに寄り添いながら、クリエイターの創造力で生まれる新しいてぬぐいのデザインを手にとってみてください。今回は数あるデザインの中から24種類をご紹介します。

## 風鈴・香箱・香皿／鋳心ノ工房



鋳心ノ工房は、日本に伝わる鋳物の伝統美を今日の生活様式に提案する工房として1997年山形市銅町に設立されました。鉄、アルミニウム、ブロンズ等の素材を中心にデザイン、製作、流通を一貫して手がけています。銅町は慶長年間、最上義光の時代から現在まで山形鋳物の産地として歴史的な地域です。

## ガラス／STUDIO PREPA



スタジオプレパは2人で営む吹きガラス工房です。彼らの器づくりは、確かな技術と細やかな感覚で、デザインから製作まで、全ての行程を自らの手で行っています。工房レベルで製作することで、器、或はガラスとしてイメージした、あらゆるディテールを思い通りに仕上げる事が出来ます。彼らの器は、ガラスが持つ素材感や特性を素直に活かし、使って心地よく、そして美しい。

## フロア畳・IGSA series／添島勲商店



日本古来の天然素材「いぐさ」を使ったインテリアメーカー。現代の生活に合うデザインと、国産いぐさによる高品質な製品を提案しています。IGSA seriesは、デザイナー清水慶太と高品質な国産素材、熟練した職人たちの高いクラフツマンシップによって、創りだされています。新しい畳、新しい「いぐさ」の使い方を是非この機会にご覧ください。